

巻 頭 の こ と ば

平成25年度に執行いたしました本市行政事務について、その概要を報告いたします。

国におきましては、安倍内閣による金融政策、財政政策、成長戦略の推進により、日本経済は着実に上向いてきているとし、また、デフレからの早期脱却と経済再生の実現に向けた経済対策を着実に実行するとしています。地方経済におきましても、景気は緩やかに回復しつつあるとされておりますが、真に地方の景気回復を実感することができる状況にはございません。

本市におきましては、依然として厳しい行財政環境の中ではございますが、引き続き、行財政改革に取り組みつつ、図書館・美術館を8月に、公会堂を3月にリニューアルオープンしたほか、長年の懸案となっておりました都市計画道路安倍三柳線の事業再開など大型プロジェクトも進展させることができた年でありました。さらに、地域防災計画の見直し、広域住民避難計画の策定や行政無線の難聴対策としての緊急テレホンサービスの開始、空き家対策条例の施行等、防災対策や安全対策に積極的に取り組んだところでございます。

また、誘致企業の株式会社源吉兆庵の鳥取米子大山工場の操業開始、大規模太陽光発電所（メガソーラー）「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」の完成、また、スカイマークの米子鬼太郎空港就航など、経済の活性化や雇用対策につながる取組みも進めることができました。

今後の市政運営に当たりましては、本市の発展と市民生活の向上のため、重要課題である防災対策、経済活性化・雇用対策、少子・高齢化対策、行財政改革の推進などを図り、また、鳥取県西部圏域はもとより、中海・宍道湖・大山圏域の中核都市として、地域のポテンシャルを活かした広域連携によるまちづくりにも取り組むことにより、市民一人ひとりが豊かな自然を享受しながら、働く場があって、希望と誇りを持って充実した生活を送ることができるまち「生活充実都市・米子」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりたい決意でございます。

市議会議員各位のご指導をはじめ、市民の皆様のご意見とご協力をいただきながら、引き続き、市政運営にまい進する所存でございますので、どうか、一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年8月

米子市長 野坂 康夫